

■火災が起きたら初期消火

消火器の場所を確認



自宅近くの消火器の場所を、3カ所以上、確認しておきましょう。

■負傷者を見つけたら救出・救護

AEDの場所を確認



全国AEDマップ
設置場所等の詳細はこちらをご覧ください

心臓に電気ショックを与え、正常な心拍機能を回復させます。

■声を掛け合って避難

自宅が危険なら避難拠点へ

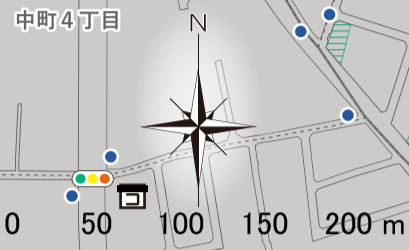


区内で震度5弱以上の地震を観測した際に開設します。

避難ルートの危ない場所をチェック



落下しそうなものが多い道やブロック塀がある道に注意しましょう。



狭い道路や行き止まり道路に注意

■西東京市の防災・災害情報

西東京市危機管理課
電話：042-438-4010
HP：右のQRコードからアクセスできます。



狭い道路や、距離が長い行き止まり道路に注意

高低差がある道が多く、空き家があり

■災害時安否確認ボード (地域の方々の救援・救助のために)

震度5弱以上の地震が起きたとき

①家族が無事で助けを必要としないときは、安否確認ボードを玄関外に3日間以上掲示してください

②隣近所で、安否確認ボードが出ていないお宅があれば、優先して声掛けをしてください



※安否確認ボードは、冊子「防災の手引」に入っています。ご自宅にない場合は、練馬区のホームページから印刷しましょう。

《地域の皆さんからの声》

- [日頃から行動したり、考えたりしておくこと]
- ・家族で避難拠点へ行ってみよう
 - ・危険箇所や避難ルートを確認しよう
 - ・防災グッズの購入など、できるところから自助の取り組みをはじめよう
 - ・近所の人同士で声を掛け合おう
 - ・防災組織に参加してみよう
- [災害が発生したら、気をつけること]
- ・避難時は、頭上の危険箇所を確認しよう

凡例 各種施設、資源等

- 交番
- 保育園
- 幼稚園
- 福祉施設等
- 公衆電話
- コンビニエンスストア
- 郵便局
- オープンスペース、広い駐車場等 (落下倒壊の恐れのない場所)

もしものときの避難する場所等

- 必ず確認してほしい場所
 - 避難拠点
 - 地震発生時に注意が必要な道 (落下しそうなものが多い道やブロック塀がある道)
- 家族等との待ち合わせ場所
 - 公園・児童遊園
 - 診療所、病院 (主な診療科を記載)

災害時に役立つ情報、資源

- 必ず確認してほしい場所
 - 消火器
 - AED
 - 防災資器材格納庫
 - ミニ防災井戸 (生活用水)
 - 地下貯水槽 (5 t)
 - 消火用貯水槽 (40 t 以上)
 - 消火栓
 - 防災無線 (放送塔)

防災資器材格納庫には、救出救護や初期消火のための資器材が入っています。防災資器材格納庫の鍵は防災会長が保管しています。

(例) ■担架・レスキューカー } 救出・救護
■バール・ハンマー } 救出・救護
■軽可搬ポンプ } 初期消火

貯水槽や消火栓は、初期消火を行う際の水源になります。



※ワークショップ参加者の意見を基に作成しています。この他にもお気付きの情報を書き込んでみてください。





関町北四・五丁目地区防災マップ(水害編)

令和4年3月発行

①情報収集



最新の気象情報を区のホームページやねりま情報メールで確認しましょう。(上記のQRコードから確認できます)

②避難の判断と準備



浸水に備え、土のう・水のう・止水板の準備や、強風に備え、雨戸・シャッターを閉めるなどの対策をしましょう。

③近隣への避難の呼びかけ



避難の呼びかけやお年寄りの避難支援など、近所の皆さんで助け合いをしましょう。

④早めの避難



自身と家族の身の安全を十分に確保しながら、貴重品や食料、毛布等を持参し、家の周りが浸水する前に早めに避難しましょう。

防災無線自動音声応答サービス

防災無線から放送された内容を、電話で確認することができる「防災無線自動音声応答サービス」を行っています。24時間以内の放送内容が確認できます。電話：0120-707-111(通話無料) ※また、防災無線の放送内容を文字化して、「ねりま情報メール」で自動配信するとともに、区のホームページでも確認できます。

川から離れた地域

川から離れた場所でも、降った雨が排水しきれずに、道路が冠水する可能性があります。

西東京市

西東京市の防災・災害情報

西東京市危機管理課
電話：042-438-4010
HP：右のQRコードからアクセスできます。



道路がくぼんでおり、側溝に落ち葉がたまりやすい

北側に避難する際、行き止まり道路に注意

道に高低差があり、高い北側から南側へ水が流れる



土のうステーション(稲荷橋) いつでも持ち出す事ができます。

石神井川沿いの地域

- 石神井川は、短時間の豪雨で急に水位が上がり、氾濫することがあります。
- 川の氾濫より前に、降った雨が排水しきれずに冠水することもあります。



練馬区防災気象情報

《地域の皆さんからの声》

- [日頃から行動したり、考えたりしておくこと]
- ・浸水する恐れのある場所を確認しよう
 - ・水害時の避難先を状況に応じて検討しておこう
 - ・自宅付近の排水溝の掃除をしよう
 - ・浸水想定地域外に自宅がある人も水害時の防災訓練などに参加しよう
- [災害が発生したら、気をつけること]
- ・水害時、雨がひどくなる前に早めに避難しよう
 - ・浸水時のマンホールは、蓋が外れる可能性があるため、注意しよう

最大浸水深 4.92m

家屋倒壊等氾濫想定区域(斜線の枠内) 石神井川が氾濫した場合、水の力で一般的な木造家屋が流出・倒壊する恐れがあります。

マイ・タイムラインを使って、早めに避難を！ 避難が遅れたら、安全な建物の2階以上へ！

避難のタイミングを決めて「マイ・タイムライン」に家族の行動をまとめておきましょう。マイ・タイムラインシートは「防災の手引」に付属しています。



もしものときの避難する場所等

避難所
※降雨状況や地域の危険性に応じて避難所を開設します。避難の際は、必ず避難所の開設状況を区ホームページ等でご確認ください。

避難所(危険がさらに高まった場合)
※河川の氾濫・浸水深の危険性がさらに高まった場合は、**避難所**の他にも区立小中学校を避難所として開設することがあります。

災害時に役立つ資源

- 防 防災資器材格納庫
- AED

準備・避難時に必要な情報

- 水位警報塔
- 防災無線(放送塔)
- 土のうステーション
- 水がたまりやすい箇所

各種施設、資源等

- 交番
- 保育園
- 幼稚園
- 福祉施設等
- 公衆電話
- コンビニエンスストア
- 郵便局
- 公園・児童遊園
- 緑地等

浸水深の目安

